

## 平成22年10月28日定例経営会議（要約）

（平成22年10月28日 午前9時30分～12時00分）

### 新たな創造 変化に対応

#### I 開会 ～ 市長あいさつ

- ・昨日から、国の事業仕分け第3弾が始まった。今回は、特別会計を仕分けるとのことで、早速、労働系特会でジョブカード等の廃止が決定した。今回の事業仕分けは、無駄の削減と埋蔵金の発掘、借金解消の3つが大きな狙いと報道等で行われている。我々が一番注目しなければならないのは、交付税の関係が今後どうなっていくのかであろう。交付税特会は既に33兆6千億円もの巨額の負債を抱えている、赤字の象徴のような会計である。今後、おそらく国はここに何らかのかたちでメスを入れざるを得ないだろう。我々にとっては、交付税をいじられるのは死活問題になりかねない。今回の事業仕分けで具体的に挙がってはいないようではあるが、交付税がどう推移するか、来年度に向けて一括交付金化の動きがどうなるのか、注目していきたい。各所管でも担当課長会議・部長会議・それぞれの機会に、何らかの情報があれば、理事者にも上げていただければありがたい。
- ・16日に美住リサイクルショップでタウンミーティングを開催した。20名程度の参加者であったが、場所が美住リサイクルショップということもあり、ごみ関係の参加者が多かった。何点か紹介する。
  - ・役所は縦割りで、横の連携が足りないのではないかと。部と部を越えれば当然だが、中には同じ課でも係が違うだけで話が全く繋がっていない。
  - ・市民協働課を4月に設置したが、いつまでに何をするのか見えない。
  - ・東村山は、「住みたいまちNo.1」を目指してほしい。児童館等是他市に比べて充実しているが、安心して歩ける道路が非常に少ない。歩道が設置された道路がわずかである。
  - ・高齢者をいろいろなかたちでもっと活用してほしい。まちのために何かやりたいと思っている高齢者は多いと思う。
  - ・市として、若者の雇用促進を何らかのかたちで取り組めないか。シルバー人材センターの若者版のようなものを、全国に先駆けて考えられないか。――面白い発想だと思ったが、具体的にどうすればいいか今後の研究課題としたい。
  - ・ペットボトルを収集する際に、レジ袋等に入れて出されると袋を裂く作業工程が加わり、またそれがごみになる。袋に入れる方式をやめたらどうか。カゴ等を家の前に出して集める方法はどうか、検討をお願いします。
  - ・国や他市でもやっている事業仕分けを東村山でもやってほしい。できるだけ他市と比較して、本市の実情を一般市民にもわかるようにしてほしい。

- ・生ごみ堆肥化の5世帯まとめでの回収、集団資源回収の手続きが非常に煩雑。もっと簡素化すれば参加が増えるのではないか。
- ・発達障害について、発見については東村山市も頑張っており取り組んでいるので、今後は療育について踏み込んでほしい。近隣の清瀬市には、そのための施設があるそうである。小平市等とも連携して考えてほしい。
- ・南台公園の高木の枝が枯れて危険である。早く剪定しなければ危ない。——昨日もこの方と会い、まだ何もやってくれないと、写真までいただいた。早く対応してほしいとのことである。後ほど部長に写真を渡す。公園係長には伝えてある。先日は7mくらいの枝が落ちたそうである。たまたま人がいなかったから無事だったが、万一いれば大事である。
- ・市役所にお金がないのは理解するが、臨時職員を多量に雇用して逆に官製ワーキングプアを生み出していないか。——先ほどの若者の雇用促進とは逆の視点かもしれないが、我々としては市内在住者に働く場をできるだけつくっているつもりだと答えた。
- ・いくつかの行事が行われた。14日、平和祈願慰霊祭、17日、国体実行委員会、20日、消防団の家族慰安会、23日、第2中学校の50周年、24日、リサイクルデー、23日から翌週の土日にかけて市民文化祭。各所管はたいへんご苦労様である。職員・関係市民によりしく伝えていただきたい。
- ・25日に市長会が開催された。当市に関わるいくつかを報告し、当市としての対応を話す。まず、都の人勧について行政部長より報告があった。例月給では平均1.2%の減、特別給・ボーナスは0.3月減、住居手当は扶養親族がいる場合は500円、単身者は300円の減。扶養手当は1000円アップ、地域手当は1ポイントアップである。行政部長から、「国の指導で『全国で給与構造改革を行っていない自治体を抱えているのは東京都内だ』とのことで、行っていない市の市長は給与構造改革を行ってほしい」と、かなり強い指導があった。人勧についても、できるだけこれに沿って実施してほしいとの話があった。当市は20年度に既に給与構造改革を行っており、このときに経営会議でも定めた「例月給と地域手当を除く諸手当は東京都に準拠し、毎年度の給与改定も都人勧に合わせる」を原則とし、地域手当は、諸般の事情で「国の定めた上限10%」とすることを原則とした。当市としては、この改革を含めて3年連続の給与ダウンとなる。先日、総務部長より各部長にメール送信していただいたが、東京都の年間影響額が一人当たり10万5千円に対して、当市は地域手当がアップしないために15万745円という、年収ベースでもかなり減り、総額では1億2千451万5千円の減となる。市長会の後の雑談で、他市の市長からは、「東村山市は一体どうやって給与構造改革をやったのか」との質問をいただいた。3年連続の給与ダウンであるが、公務員給与に対しては非常に厳しい世論もある。当市は原則どおり、今年度も実施させていただきたいと考えているので、職員各位の理解をいただき、進めさせていただきたい。もうひとつ、——東京都からではなく市長会で決めたことであるが、——今年の夏の猛

暑を踏まえて、市長会の役員会で随分議論されたようである。今後も、毎年夏にこの暑さが続くと、児童・生徒が熱中症になる可能性もあり、財政負担は非常に大きい。小中学校の空調機器整備について、東京都に財政支援を求めていくことを市長会として決定した。都議会9月定例会においても、公明党と共産党の都議から石原都知事・大原教育長に質問が出され、「市長会等の意向を踏まえて判断する」とのことで、どちらかといえば市長会に下駄を預けられた状況である。

- ・昨日、美住リサイクルショップの運営委員会の方々と初めて懇談を行った。そのときに強く指摘されたのが、「イベントにおけるごみの発生抑制をもっと真剣に進めてもらいたい。」ということである。美住リサイクルショップで行っているイベントでは、飲食に係る皿・コップ等の食器は、基本的に使い捨てではなく、陶器性で洗って使いまわすことを徹底しているそうである。しかし、その他の産業まつりや緑の祭典等、市のイベントでは全くそういう指導していないのではないかと、厳しいご指摘であった。今後、イベントにおけるごみの発生抑制について、全庁的・統一的なルールを決め、極力抑制する方向に進めていきたいと思う。いきなりは難しいかもしれないが、少しずつ検討する必要があるのではないかと考えている。今後の経営会議等で、この可能性について検討いただきたい。
- ・総務部長からメールで配信していると思うが、昇任試験について10月29日が締切である。ぜひこの人と思う職員には部長から督励して主任、係長、課長補佐試験を受験してもらおうよう薦めていただきたい。
- ・25日(月)に予算要求を締め切った。まだ詳細は聞いていないが、歳入歳出がどのくらい乖離しているかを見て、実施計画策定と併せて編成作業を進めさせていただきたい。
- ・秘書課長からメールしたと思うが、31日(日)に調布市長、武蔵野市長、福生市長、東久留米市長と私の5人でシンポジウムを行うこととなった。テーマは「市民との協働について」で、調布市の教育会館で開催する。私も他流試合に臨むのは初めてなので、どうなるかわからないが、もし関心・お時間がある方はおいでいただければと思う。

## II 協議事項

### (1) 東村山駅周辺まちづくりについて

- ・東村山駅付近の連続立体交差事業については、平成21年4月に国の着工準備採択を受け、事業主体となる東京都は、鉄道事業者や当市と連携し、事業化を目指した計画の策定を進めてきた。
- ・一方、当市では、平成20年度より、次のまちづくりの目標となる「東村山駅周辺まちづくり基本構想」の検討を、多くの市民の参加を得ながら進め、平成22年2月に策定

することができた。

- ・その後、市は、まちづくり基本構想の考え方を踏まえ、連続立体交差事業と関連する道路計画等のうち、連続立体交差事業の区域に沿って整備する鉄道附属街路について、考え方、及び都市計画手続の方針について協議を行い、以下2点を決定した。
  1. 鉄道附属街路は5箇所とする。
    - ・良好な住環境の保全に必要な鉄道附属街路：3箇所
    - ・地域の利便性、及び防災性の向上を図るために必要な鉄道附属街路：2箇所
  2. 鉄道附属街路の都市計画決定手続を、東京都の連続立体交差化計画と同時に進める。

#### (2) 平成23年度及び24年度の職員体制について

- ・前回から継続して協議する。

### Ⅲ 報告事項

#### (1) 市議会12月定例会提出予定案件・所信表明事項について

#### (2) 平成23年度の予算編成について

#### (3) その他

- ・11月9日(火)午後7時から「第4次総合計画・行財政改革大綱、10年後の東村山を考えよう！」という催しが開催される。昨日の総務会議で審議会等、市民に配付できる機会があったら配っていただくようにと依頼をした。管理職・一般職員とも多くの参加を願う。

### Ⅳ 閉会 ～ 副市長

以上